



News Release

2025 年 6 月 27 日

株式会社 九州フィナンシャルグループ
株式会社 肥 後 銀 行
株式会社 鹿 児 島 銀 行
九 州 F G 証 券 株式会社

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく 2025 年 3 月期の主な取り組みおよびK P I の結果について

当社グループは、お客さま本位の業務運営を徹底し、お客さまの安定的な資産形成や、お客さまの最善の利益につながる取り組みを更に発展させていくため、グループ共通の基本方針として「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」（以下、本方針）を策定しております。

本方針に基づく、グループ各社（肥後銀行・鹿児島銀行・九州F G証券）の2025年3月期の主な取り組みおよびK P I（Key Performance Indicator：重要業績評価指標）の結果につきましてお知らせいたします。なお、九州F G証券のK P Iには、肥後銀行および鹿児島銀行で受け付けた金融商品仲介取引を含んでおります。

今後も、本方針のグループ内浸透に向けた施策を充実させるとともに、お客さまの最善の利益実現に向け、最適かつ最良な金融商品・サービスの提供に取り組んでまいります。

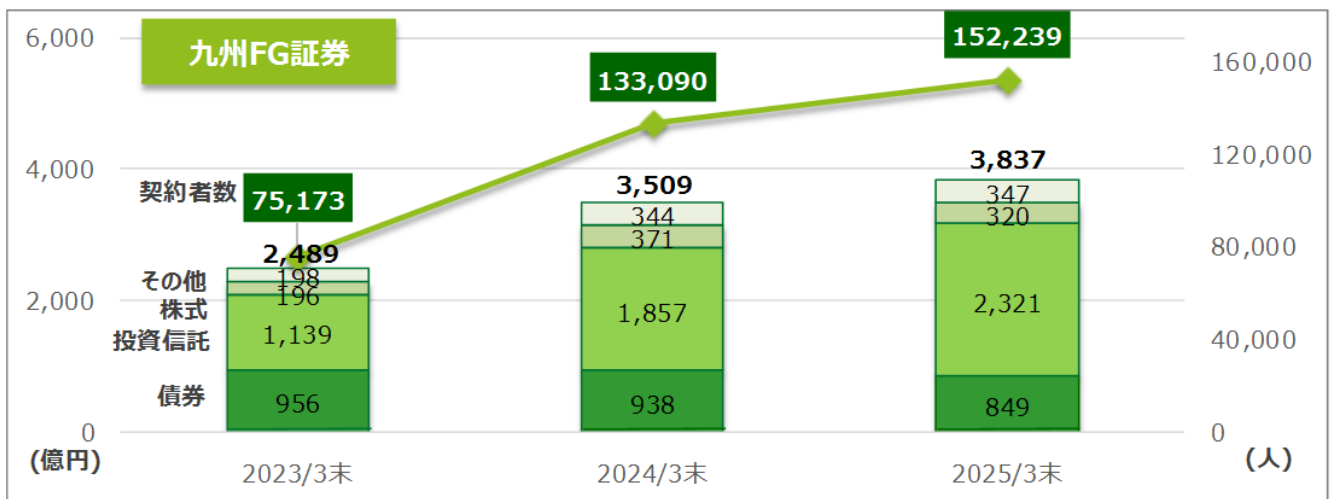
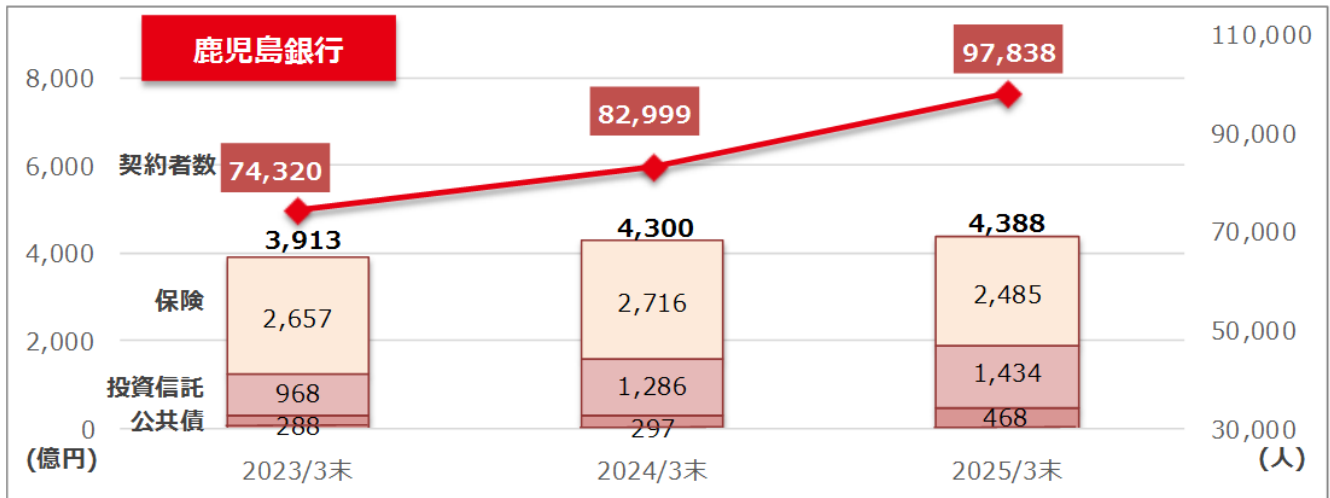
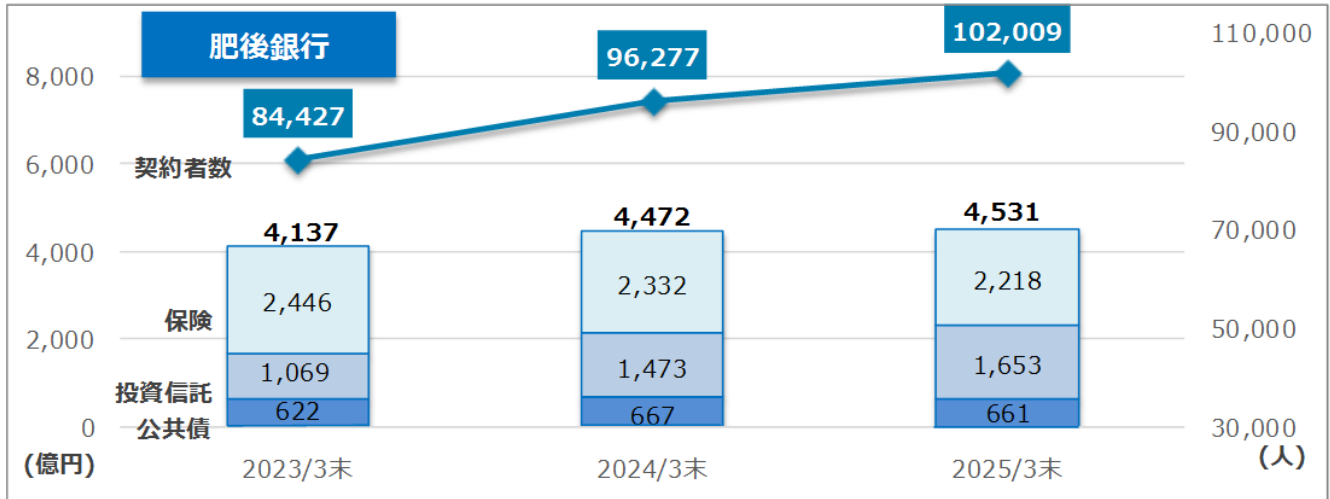
以 上

【本件に関するお問合せ先】
九州フィナンシャルグループ 事業戦略部
TEL 096-326-5595

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく
2025 年 3 月期の主な取り組みおよび K P I の結果について

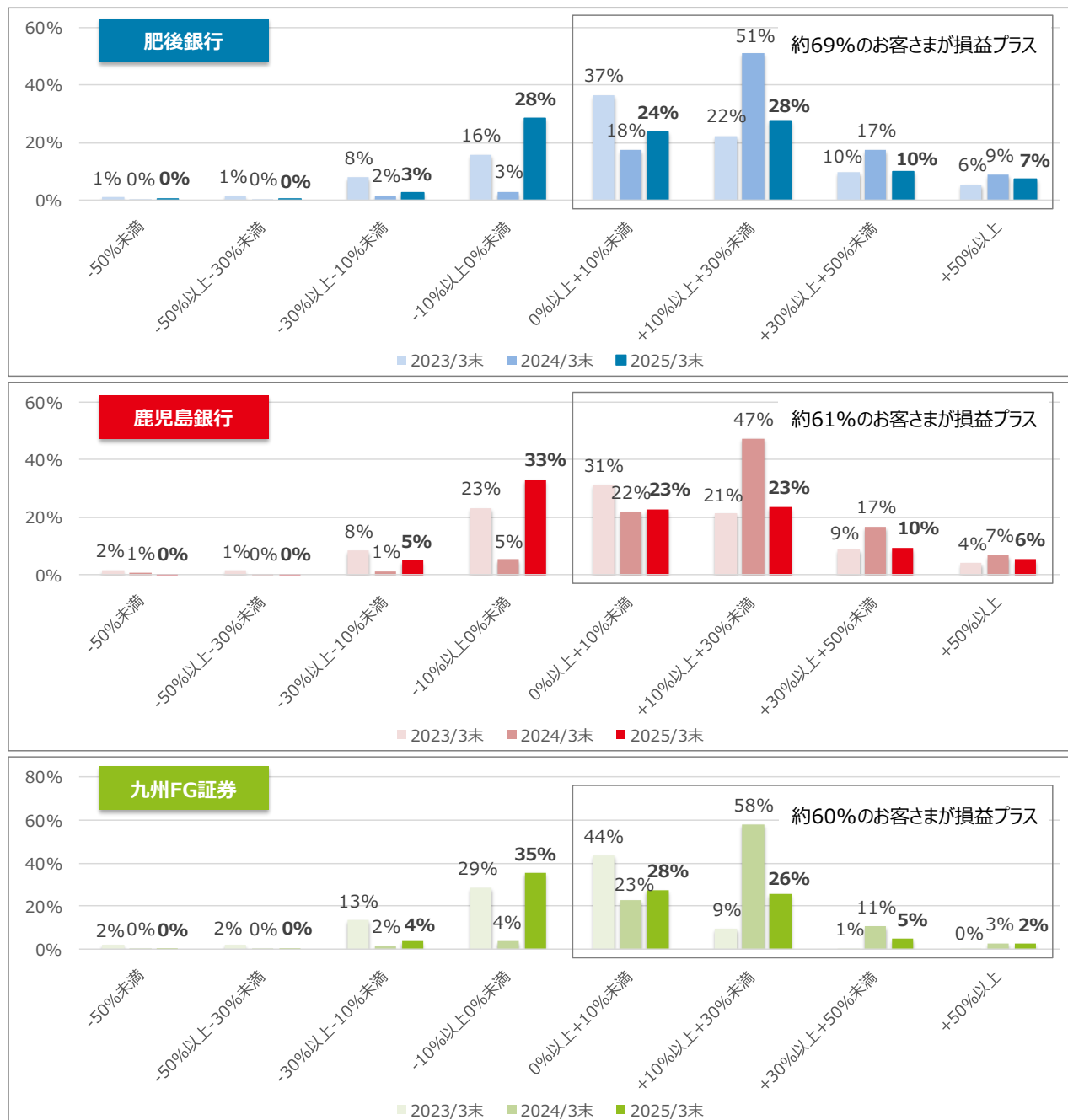
■ 預り資産残高・契約者数推移

当社グループでは、お客さま本位の業務運営を徹底することで、お客さまのニーズにお応えする取り組みを進めております。その結果、全社で預り資産残高・契約者数共に増加しました。



■運用損益別顧客比率（投資信託）【共通KPI】

お客さまの運用損益については、米国の株価上昇を主要因として、全社的に増加いたしました。



〈定義〉2025年3月末時点に投資信託を保有している個人のお客さま

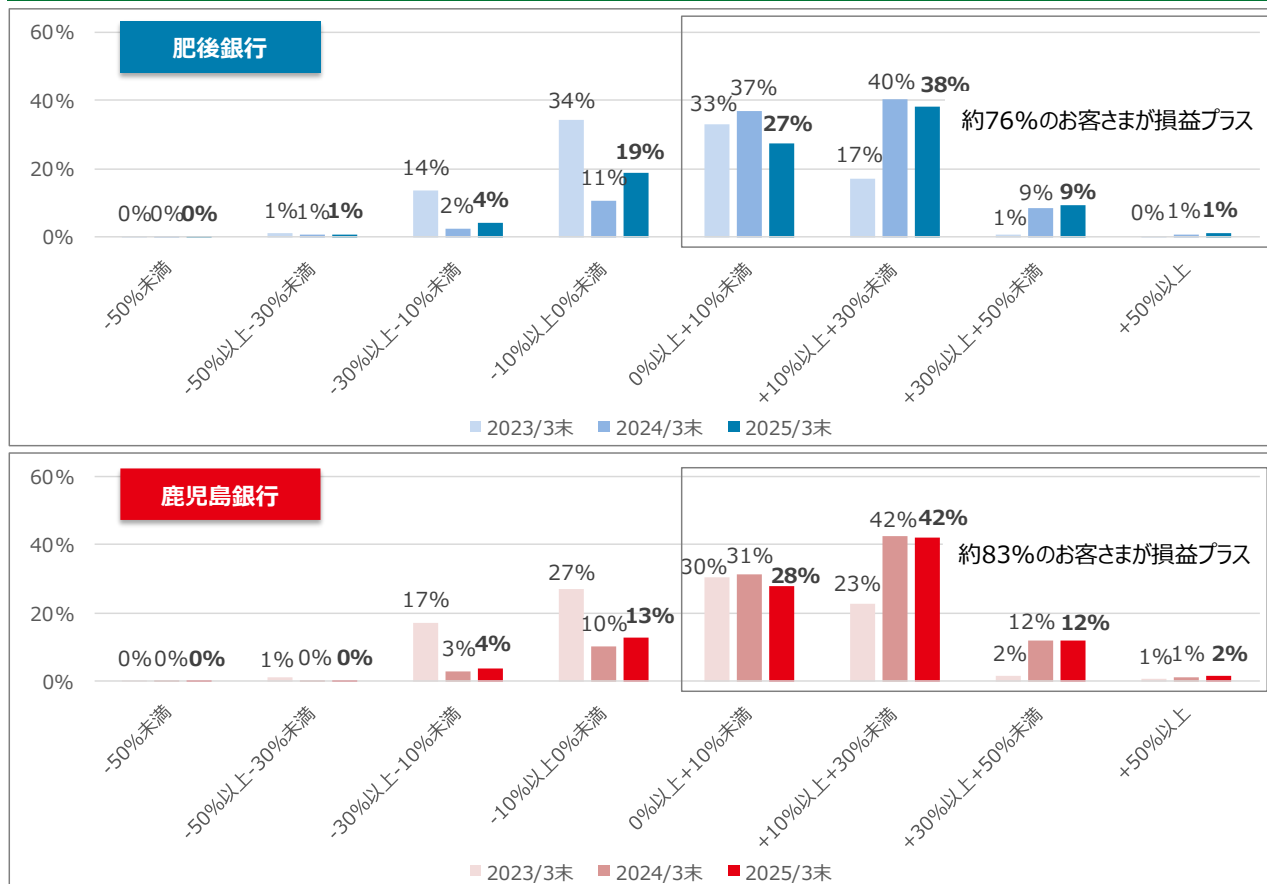
分子：基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売付金額

－累計買付金額（含む消費税込の販売手数料）

分母：基準日時点の評価金額

■運用損益別顧客比率（外貨建保険）【共通K P I】

お客さまの運用損益については、為替相場は前年度比横ばいであり、両行とも7割を超えるお客さまの損益がプラスとなっております。



〈定義〉2025年3月末時点に外貨建保険を保有している個人のお客さま

分子：（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額）

－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算）

分母：契約時点の一時払保険料（円換算）

当社グループの「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく、主な取り組みおよびK P Iの結果は次ページ以降に記載しております。

お客さまの最善の利益実現に向けた当社グループの基本姿勢【基本方針第2条】

【主な取組内容】

肥後銀行(以下、当行)では、お客さまの最善の利益を目指して、特定の商品や商品提供会社に偏らない金融商品・サービスの提供や、積立型投資信託を中心とした長期分散投資の推奨に努めております。

■長期分散投資の推奨および 新 NISA 制度の活用促進

2024 年度は、新 NISA を中心とした長期分散投資の推奨に向けキャンペーンを年 2 回実施するなど、お客さまの将来の資産形成のきっかけとなるよう努めました結果、積立投資信託の契約先数は 48,909 先、NISA 口座利用先数は 72,145 先となりました。なお、職場つみたて NISA は 2025 年 3 月末時点で 410 社にご契約いただいております。さらに、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するべく、新入行員研修等の階層別研修に加え、九州 FG 証券トレーニーなど、より実践的で幅広い研修を行っております。

《投資信託販売における積立型の割合並びに積立型の契約先数》

	2023/3末	2024/3末	2025/3末
年間投信販売額（百万円）	21,378	44,939	46,671
うち積立型	6,685	9,285	11,875
販売額割合	31.3%	20.7%	25.4%
積立投資信託の契約先数	29,741	45,154	48,909

【キャンペーン（年 2 回実施）】

毎月コツコツ、まともな投資に！
肥後でよか NISA キャンペーン
 2024.11.22 - 2025.3.31

①または②の条件を達成したお客さまから抽選で 600 名様に 5,000 円分のよかもーポイントをプレゼント！

1 毎月コツコツ投資コース
 NISA口座（ゆめとけ投資信託・ゆめとけ投資信託）を利用して、毎月 5,000 円以上の投資信託の買付を継続し、抽選に当たった方

2 まともな投資コース
 NISA口座（ゆめとけ投資信託）を利用して、投資信託を累計 10 万円以上ご購入した方

肥後銀行投資信託口座／九州FG証券仲介口座のNISA口座が対象です
 (※、このコースはそれぞれ最大1口座ずつ、同時に申し込みいただけます。抽選は1人1回限りとなります。)

【職場つみたて NISA】

肥後銀行 職場つみたて NISA

職場つみたて NISA とは
 毎月の口座振替により、NISA口座を利用して積立投資ができる「肥後銀行 職場つみたて NISA」がはじまりました。「肥後銀行 職場つみたて NISA」は、職場の福利厚生制度の一環として、中長期的な資産形成を支援する制度です。

職場つみたて NISA の仕組み

「肥後銀行 職場つみたて NISA」は、事業者様が当行と導入契約を締結いただくことで、当行が主催する職場での金融・投資説明会へのご参加を通じて、投資信託のみなさまの積立投資信託の購入や、当行がライフプランのサポートを行う制度です。

① 導入契約締結 ② 職場説明会開催 ③ 積立投資信託の購入 ④ NISA口座開設 ⑤ 毎月少額ずつ ⑥ 一定額の積立で リスク分散 ⑦ 口座振替で 手間いらず

積立投資信託の購入にあたっては、九州FG証券でのNISA口座開設が必要となります。

職場つみたて NISA の特徴

① 毎月少額ずつ 無理なく積立
 毎月 5,000 円から 1,000 円単位で設定できるので、無理なく計画的に資産形成を行うことができます。

② 一定額の積立で リスク分散
 毎月一定金額での購入と年々ため、積立の額が増えるにつれて自動的に資産の分散が図られます。分散効果により、リスク分散が図れます。

③ 口座振替で 手間いらず
 毎月入金や残金の確認の手間がありません。

※九州FG証券オンライントレードでは、月々 1,000 円から積立できます。

お客さまの最善の利益に資する適切な利益相反管理【基本方針第3条】

【主な取組内容】

当行では、お客さまの最善の利益に資する利益相反管理に向け「利益相反管理方針」を定めております。そのうえで利益相反の可能性のある取引を特定・類型化し、適切な利益相反管理を行っております。

■乗換契約のモニタリング

利益相反の可能性のある取引の具体例として、乗換契約における手数料説明状況等を月次でモニタリング管理しております。

■新商品導入時の検証

新商品選定時には商品提供会社・手数料・商品カテゴリー等を検証のうえ、商品を導入しております。

《投資信託販売額上位10銘柄 2024年度》

順位	カテゴリー	肥後銀行		
		商品名	投信会社名	販売額（百万円）
1	海外株式	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Dコース	アライアンス・バースタイン	4,064
2	国内株式	野村インデックスファンド・日経225	野村アセットマネジメント	3,535
3	海外株式	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	2,449
4	バランス	のむらップ・ファンド（普通型）	野村アセットマネジメント	2,151
5	国内株式	インデックスファンド225	日興アセットマネジメント	2,083
6	海外株式	FANG+インデックス・オープン	大和アセットマネジメント	1,978
7	海外株式	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	1,922
8	国内株式	たわらノーロード 日経225	アセットマネジメントOne	1,900
9	国内株式	日経平均高配当利回り株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	1,889
10	国内株式	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	1,845
		上位10銘柄合計		23,817

《積立投資信託販売件数上位10銘柄 2024年度》

順位	カテゴリー	肥後銀行			
		商品名	投信会社名	分配周期	販売構成
1	国内株式型	たわらノーロード 日経225	アセットマネジメントOne	年1回	20.3%
2	海外株式型	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	年1回	17.3%
3	海外株式型	たわらノーロード 全世界株式	アセットマネジメントOne	年1回	9.0%
4	海外株式型	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	年1回	8.5%
5	バランス型	たわらノーロード バランス（8資産均等型）	アセットマネジメントOne	年1回	5.2%
6	海外株式型	たわらノーロード 新興国株式	アセットマネジメントOne	年1回	3.7%
7	国内株式型	インデックスファンド225	日興アセットマネジメント	年1回	3.4%
8	海外株式型	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族	野村アセットマネジメント	年1回	2.7%
9	バランス型	のむらップ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	年1回	2.4%
10	海外株式型	たわらノーロード 先進国株式＜為替ヘッジあり＞	アセットマネジメントOne	年1回	2.0%
		上位10銘柄合計			74.5%

《生命保険販売額上位10銘柄 2024年度》

順位	カテゴリー	肥後銀行		
		商品名	生保会社名	販売額（百万円）
1	個人年金保険	プレミアジャーニー（円建）	第一フロンティア生命	4,416
2	個人年金保険	プレミアカレンシー3（円建）	第一フロンティア生命	2,701
3	終身保険	えらべる外貨建一時払終身保険	明治安田生命	1,822
4	終身保険	プレミアシープ（円建）	第一フロンティア生命	1,186
5	個人年金保険	プレミアカレンシー3（外貨建）	第一フロンティア生命	847
6	終身保険	エブリバディ・プラス（円建）	明治安田生命	838
7	終身保険	ふるはーとロードプラス	住友生命	779
8	終身保険	やさしさつなぐ2（円建）	三井住友海上プライマリー生命保険	602
9	個人年金保険	プレミアカレンシー3（外建）	第一フロンティア生命	503
10	終身保険	プレミアストーリー4（円建）	第一フロンティア生命	496
		上位10銘柄合計		14,190

お客さまにご負担いただく手数料等の明確化【基本方針第4条】

【主な取組内容】

■新商品導入時の適切な手数料設定

新商品導入時は、情報提供や契約事務に係る各種コストを総合的に判断して手数料を設定しております。なお、2024年度は投資信託において、限定追加型7商品、つみたて投資枠（つみたてNISA）対象8商品を含む計15商品を導入いたしました。いずれも、商品特性、類似商品の手数料水準などを勘案し、適切に設定しました。

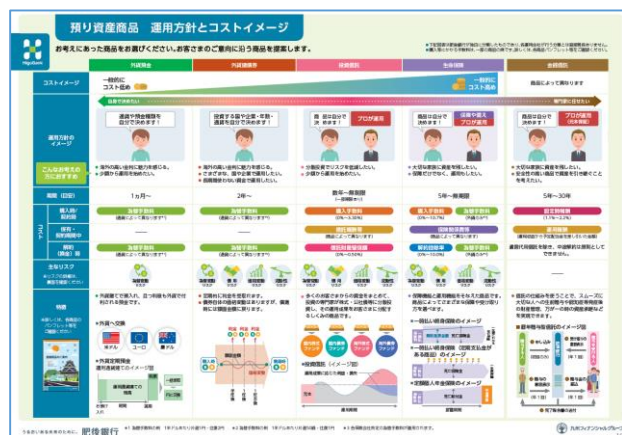
■重要情報シート等の活用によるわかりやすい説明

商品販売時の手数料の説明において、投資信託ラインナップやホームページなど各種ツールに加え、投資信託・生命保険・外貨保険の「重要情報シート（個別商品編）」を活用し、よりわかりやすい説明に努めております。

また、ご説明にあたっては、預り資産商品ごとの手数料を比較可能な資料（運用方針とコストイメージ）を活用した、わかりやすい説明を行ってまいります。

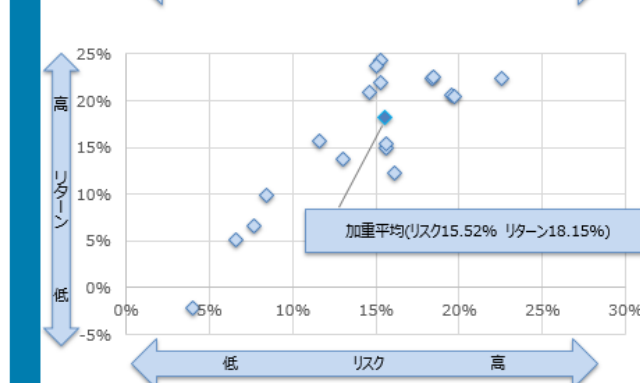
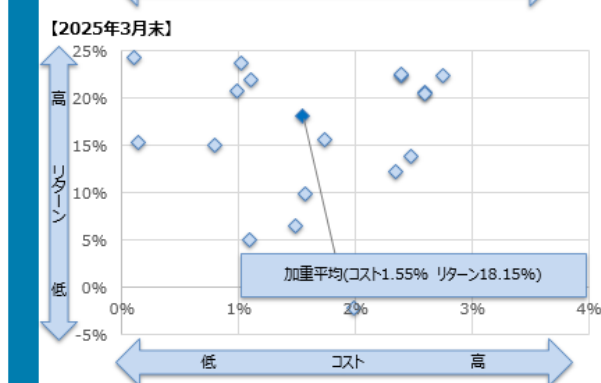
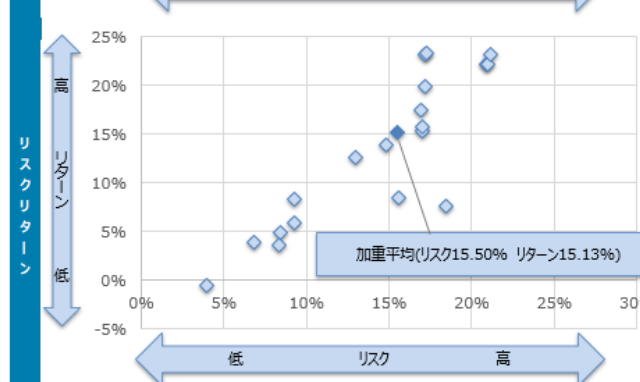
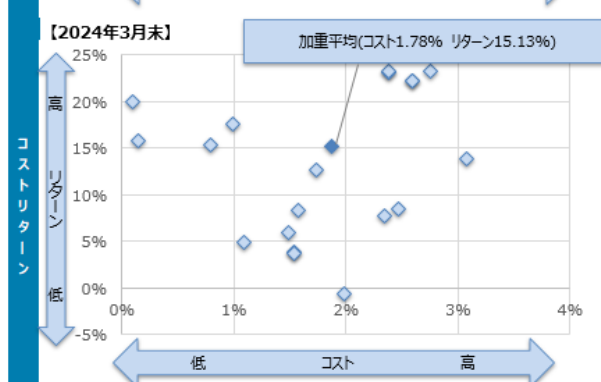
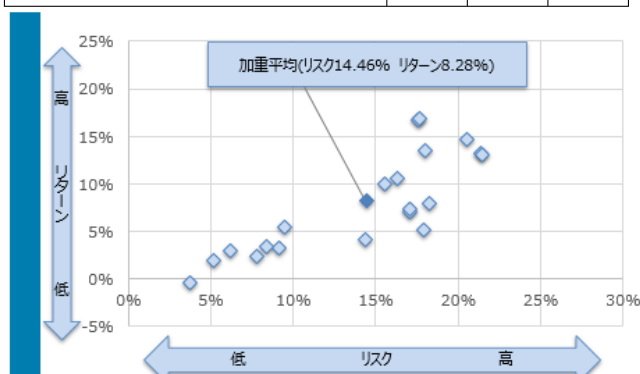
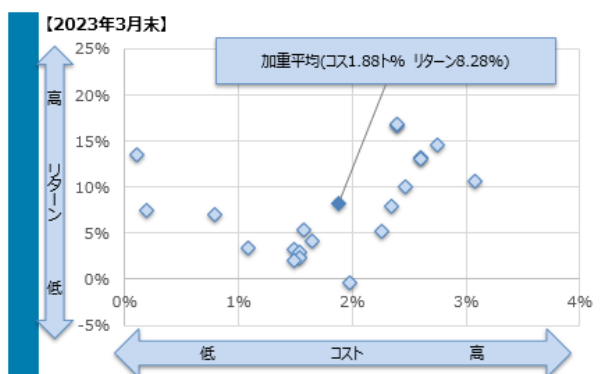
【お客さまへの説明ツールの一例】

- 図表や平易な語句を用いたツールを活用しております。
- QNaviの導入により、指標や期間別の運用実績ランキングなども併用し、より専門的な情報も提供しております。



■ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン・リスクリターン【共通 K P I】

	ファンド名	コスト	リスク	リターン		ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39%	18.36%	22.39%	11	新光 US-REIT オープン	2.34%	16.15%	12.28%
2	インデックスファンド 225	0.79%	15.62%	15.00%	12	のむらップ・ファンド (積極型)	1.74%	11.61%	15.64%
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)	2.60%	19.53%	20.57%	13	FANG+インデックス・オープン	1.24%	28.72%	39.03%
4	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	15.27%	24.29%	14	財産3分法ファンド (不動産・債券・株式) 毎月分配型	1.49%	7.71%	6.56%
5	たわらノーロード 日経225	0.14%	15.63%	15.39%	15	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	2.47%	12.99%	13.82%
6	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39%	18.49%	22.52%	16	One NYダウ・インデックス・ファンド	1.10%	15.28%	22.00%
7	のむらップ・ファンド (普通型)	1.57%	8.43%	9.83%	17	日経平均高配当利回り株ファンド	1.02%	15.01%	23.78%
8	米国株式配当貴族 (年4回決算型)	0.99%	14.62%	20.83%	18	グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)	2.60%	19.68%	20.51%
9	投資のソムリエ	1.98%	4.03%	-2.16%	19	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B (ヘッジなし)	2.75%	22.53%	22.45%
10	iFree S&P500インデックス	0.20%	16.20%	25.29%	20	くまもと未来応援ファンド	1.09%	6.56%	5.05%
残高加重平均値							1.55%	15.52%	18.15%



〈定義〉

コスト：基準日時点の販売手数料率と信託報酬率の合計値（年率換算）

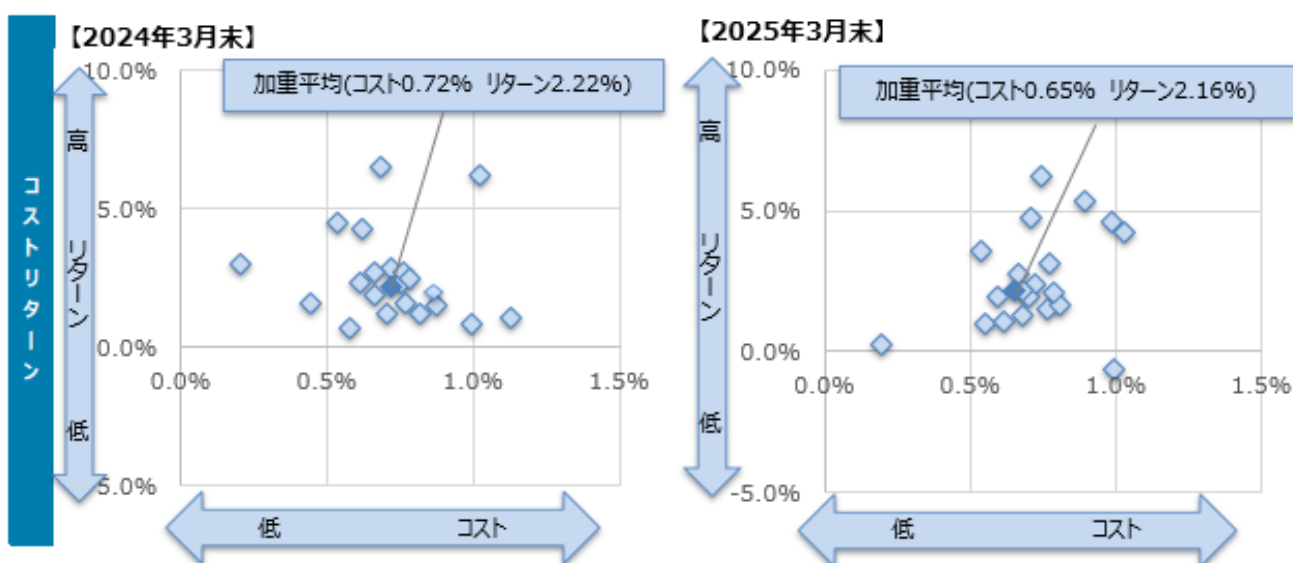
リターン：過去5年間のトータルリターン※（年率換算）

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差※（年率換算）

* 騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

■外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン【共通 K P I】

ファンド名			コスト	リターン	ファンド名			コスト	リターン
1	プレミアシップ (外貨建)		0.67%	2.74%	11	ロングドリーム G O L D		0.68%	1.31%
2	やさしさ、つながり		0.55%	0.99%	12	ロングドリーム G O L D 2		0.90%	5.37%
3	しあわせ、ずっと		0.62%	1.08%	13	プレミアジャンプ・年金 (外貨建)		0.77%	1.48%
4	プレミアカレンシー・プラス 2		0.72%	2.38%	14	おおきな、まごころ		0.81%	1.64%
5	プレミアプレゼント		0.70%	1.95%	15	外貨建・エブリバディプラス		0.74%	6.22%
6	夢のプレゼント		0.54%	3.56%	16	ロングドリーム G O L D 3		0.98%	4.59%
7	ビー・ウィズ・ユー (円建)		0.19%	0.21%	17	プレミアカレンシー・プラス		0.59%	1.97%
8	サニーガーデン E X		0.68%	2.18%	18	しあわせ、ずっと 2		1.03%	4.25%
9	プレミアストーリー 2		0.78%	3.09%	19	プレミアカレンシー 3		0.79%	2.06%
10	ビー ウィズ ユー プラス		0.99%	-0.63%	20	えらべる外貨建一時払終身 (受け取るタイプ)		0.71%	4.74%
残高加重平均値								0.65%	2.16%



〈定義〉

コスト：保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出した各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料 (円換算) で加重平均

リターン：(基準日時点の解約返戻金額 + 基準日時点の既支払金額 - 契約時点の一時払保険料) ÷ (契約時点の一時払保険料) を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均 (いずれも円換算)

お客さまに応じた分かりやすい情報提供の充実【基本方針第5条】

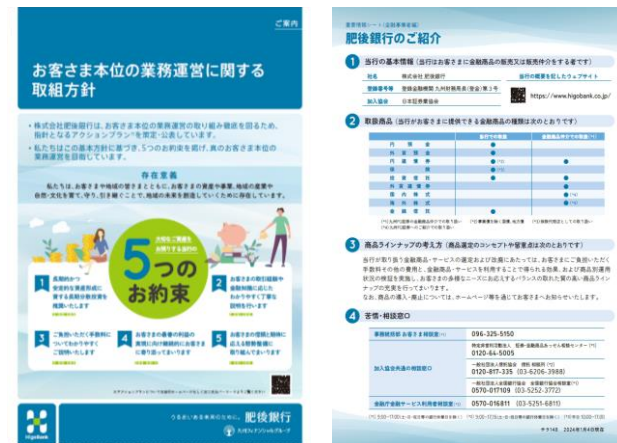
【主な取組内容】

当行では、重要情報シート、各種パンフレット、タブレット等 IT ツールを活用しながら、各種商品の基本的なリターンやリスク、取引条件等について比較も行いつつ、お客さまの知識・経験を考慮したわかりやすい説明に努めております。

■ F D 宣言リーフレット兼重要情報シート（金融事業者編）のご説明

2024 年 3 月より、「F D 宣言リーフレット兼重要情報シート（金融事業者編）」を作成しております。お客さまに金融商品をご提案する際に事前に当行のお客さま本位の業務運営に関する基本姿勢を説明し、ご理解頂くよう努めてまいります。

【F D 宣言リーフレット兼重要情報シート（金融事業者編）】



■ アフターフォローの継続的実施とモニタリング

ご契約後の資産運用状況や市場動向などについて定期的にアフターフォローを実施するほか、市場急変時にもタイムリーな情報提供に努めました（アフターフォロー実施先数 93 千先）。

また、ご高齢のお客さま向け販売や乗換勧誘販売を中心に、ご説明の内容やお客さまのご理解の状況などについて、モニタリングを実施しております。

■ 金融リテラシー向上に資するお客さまセミナーの実施

お客様さま向けセミナーは、お客さまの金融リテラシー向上に向けた重要な取り組みの一つであり、職域等の対面形式だけでなくオンライン形式でも開催し、様々な層のお客さまにご参加いただきました。特に、2024 年 6 月 22 日（土）にはくまもと県民交流会館パレアにて、お客さま向けセミナーを実施。また、「学生向けの金融教育セミナー」制度概要や活用方法に関するセミナーを多数開催いたしました。

《実施状況》

	2023年度	2024年度
お客さまセミナー実施回数	1,970回	1,590回
セミナー参加者回数	17,438人	30,486人

■ ライフイベントに応じた動画公開

お客さまがいつでも自由に情報を取得できるよう、ライフイベントに応じた動画コンテンツを当行ホームページ内にご用意しております。「学生生活」「就職」「結婚」「子育て・教育」「住宅購入」「セカンドライフ」「相続」といったライフイベントにおいて、どのような費用がかかるのか、それに向けてどのような準備をすればいいのか、といった情報をご紹介します。なお、当行 YouTube 公式チャンネルでもご視聴いただけます。

【NISA を活用した年代別の資産運用動画】



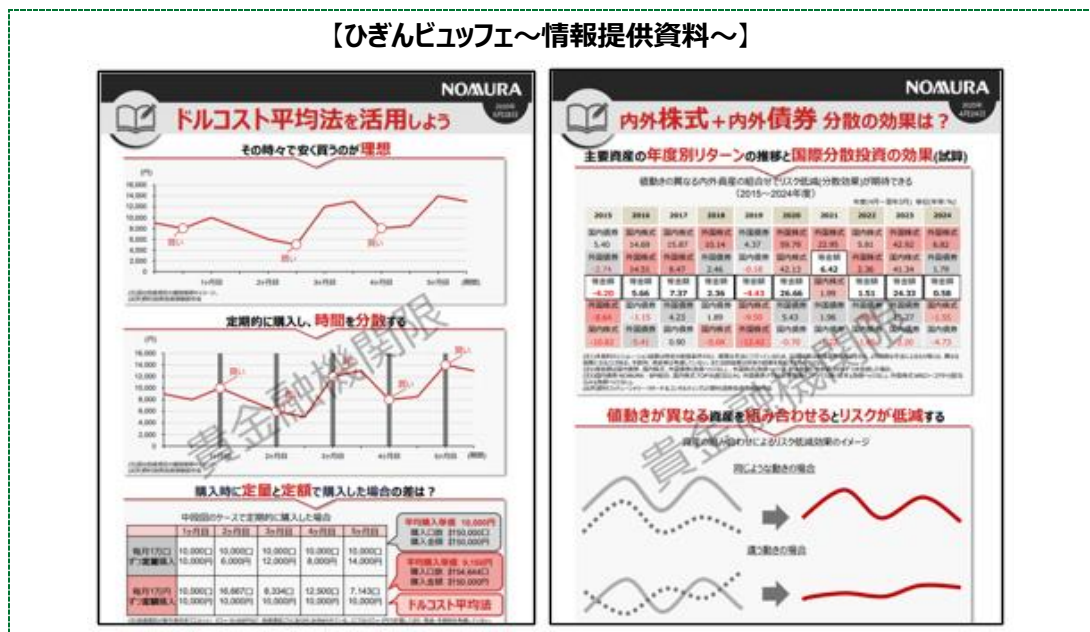
■ お客さまへの情報提供

2023 年 3 月から、SNS を活用した新たな情報提供ツールとして、LINE にて「Higin Market Touch」を導入いたしました。お得なキャンペーン情報やセミナーのご案内、投資信託基準価額、マーケット概況などを随時配信しております。従来の職域セミナーの定期的な開催に加え、幅広い情報提供に努めております。

【Higin Market Touch】



また、野村証券作成のお客さま向け情報提供資料を、当行のサービス「ひぎんビュッフェ」として取り扱いを開始。お客さまのニーズに合わせて資料を組み合わせる情報提供いたします。



■コンサルティング専門拠点の設置（プライベートバンキングプラザ、プライベートバンキングプラザ山鹿、プライベートバンキングプラザ八代、プライベートバンキングプラザ天草）

高齢化の進展によりますます高まる「そなえる・のこす・つなぐ」ニーズに専門的に応える相談拠点を、2022年4月に県内4カ所へ開設致しました。長期間にわたる資産承継対策の立案と実施、および、次世代への資産運用提案をワンストップで行うため、プライベートバンカーを配置しております。

また、御代志駅周辺の再開発により、18年ぶりとなる新店舗を出店しました。個人のお客さまへのコンサルティング営業に特化した当行初の店舗形態となる「みよしスマート支店」を開設しました。



お客さまにとって最適かつ最良の金融商品・サービスの提供【基本方針第6条】

【主な取組内容】

■商品ラインナップの充実

当行では、お客さまのニーズに添った金融商品・サービス提供のため、投資信託及び保険商品のラインナップの見直しを行ってまいりました。投資信託においては、限定追加型7商品、つみたて投資枠（つみたてNISA）対象5商品を含む、計13商品を導入いたしました。また、生命保険について、保証や機能（贈与・年金等）を目的に活用することを当行の取扱方針とすることから、今般、運用ニーズを目的とするターゲット型外貨保険の新規取扱を廃止しております。

■新・資産運用コンサルティングサービス「Q Navi」の活用

真のお客さま本位の業務運営に資するゴールベースアプローチ提案等による、お客さまに寄り添った伴走型コンサルティングの実践を目的として「Q Navi」を導入。また、2024年4月より相続税の試算等による更なる情報提供が可能となる「相続機能」を追加しております。

■商品提供会社との連携

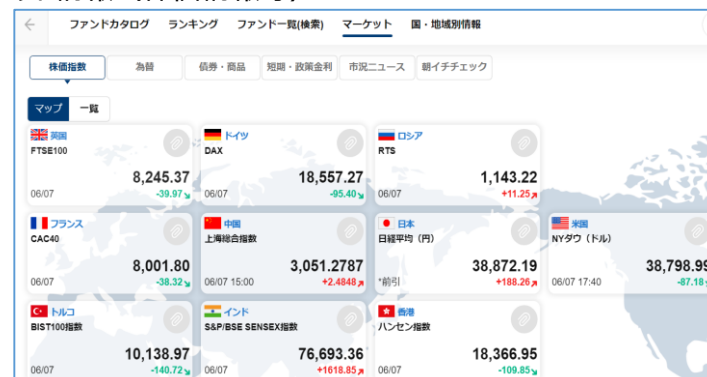
当行は、商品提供会社とお客さま属性や苦情等の情報を共有し、その情報に基づく検証・分析結果を商品提供会社の選定や商品の導入・改廃等に活用することで、適切なラインナップを構築してまいります。

【新・資産運用コンサルティングサービス「Q Navi」の画面】

■ポートフォリオシミュレーション機能



■各種マーケット情報（株価情報等）



■ 投資信託商品ラインナップ（商品数・比率） 2025 年 3 月末

カテゴリー		商品数	比率
国内	債券型	2	1.3%
	株式型	16	10.5%
	REIT型	3	2.0%
	バランス型	0	0.0%
海外	債券型	34	22.2%
	株式型	68	44.4%
	REIT型	5	3.3%
	バランス型	23	15.0%
その他		2	1.3%
合計		153	100.0%
うちノーロード（除くつみたてNISA専用）		18	11.8%
うちつみたてNISA専用		10	6.5%

■ 生命保険商品ラインナップ（商品数・比率） 2025 年 3 月末

カテゴリー			商品数	比率	うち法人専用
一時払	円建		7	53.8%	0
		変額年金	1	7.7%	0
		定額年金	0	0.0%	0
		終身保険	6	46.2%	0
	外貨建		6	46.2%	0
		変額年金	1	7.7%	0
		定額年金	0	0.0%	0
		養老保険	0	0.0%	0
		終身保険	5	38.5%	0
	合計		13	100.0%	0
平準払	年金保険	3	10.0%	1	
	養老保険	1	3.3%	1	
	終身保険	2	6.7%	0	
	定期保険	12	40.0%	11	
	収入保障保険	2	6.7%	1	
	医療・がん保険	9	30.0%	2	
	生活障害保障保険	1	3.3%	1	
	合計		30	100.0%	17

お客さまの信頼と期待に応える態勢の整備【基本方針第7条】

【主な取組内容】

■お客さま本位の業務運営の浸透・定着に向けた取り組み

当行では、お客さま本位の業務運営の浸透・定着に向け、お客さま本位の業務運営に関するマニュアルの整備や各種研修での講義を実施してまいりました。また、お客さまに寄り添った提案活動を促進するため、2024年には、「基本提案フロー」を策定いたしました。当行では、お客さまとの資産運用に関するご案内を録音させて頂いております。モニタリングを通じて、行員の教育・指導を行い、ご対応の品質向上を行ってまいります。

■行員の資格取得推奨、および適切な動機付け

行員の金融商品・サービスの提案や情報提供のスキルアップに向け、ファイナンシャル・プランニング技能士の資格取得を推奨しております。新規取得者の増加と併せて、既取得者による上級資格の取得にも努めております。また、適切な提案やお客さまの満足度向上につながる行動を評価するため、営業店の業績評価基準を適宜見直し、お客さまの信頼と期待に応える態勢整備に取り組んでまいります。

■お客さまの声に基づくサービス品質向上

また、お客さまの声を業務運営に反映させるため、NPS®アンケートを定期的の実施しております。当行ではこの結果を真摯に受け止め、今後の業務運営向上に努めてまいります。

■資産運用関連資格者数

	2023/3末	2024/3末	2025/3末
FP1級、2級	1,174	1,222	1,283

■NPS®アンケート結果

	肥後銀行
2022年度実施結果	14.5
2023年度実施結果	20.4
2024年度実施結果	16.1

【NPS®について】

NPS®（ネット・プロモーター・スコア®）アンケートとは、お客さまが企業やブランド、商品・サービスに対して抱く信頼感や愛着を表す指標で、顧客満足度と違い、今後お客さまが「知人やご家族にどのくらい勧めたいか（推奨度）」を測るものです。

【計算方法】

$$\text{NPS®} = \text{「推奨するお客さまの割合」} - \text{「推奨しないお客さまの割合」}$$

質問:ご家族や友人から相談を受けた場合、担当者を薦めたいと思いますか? (10点満点)

→10～9点を「推奨する立場」、8～7点を「中立の立場」、6～1点を「推奨しない立場」に分類

(例) 回答者数 100人 推奨する: 50人、中立: 10人、推奨しない: 40人

推奨する (9点以上)
お客さまの割合 50%

—

推奨しない (6点以下)
お客さまの割合 40%

=

NPS® 10

注: NPS®とネット・プロモーター・スコア®は、ペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標です。

(鹿児島銀行)

お客さまの最善の利益実現に向けた当社グループの基本姿勢【基本方針第2条】

【主な取組内容】

鹿児島銀行(以下、当行)では、お客さまの最善の利益実現を目指して、特定の商品や商品提供会社に偏らない金融商品・サービスの提供や、積立型投資信託を中心とした長期分散投資の推奨に努めております。

■ 特定の商品や商品提供会社に偏らない金融商品・サービスの提供

ライフプランニングを起点としたコンサルティング営業を実施するため、ライフプランシミュレーション等のツールを用いて資産運用の必要性をお伝えしてまいりました。

■ 積立型投資信託を中心とした長期分散投資の推奨

将来に向けた資産形成のきっかけとなるよう「つみたて投資キャンペーン」、「資産づくりプラン」を実施し、2025年3月期の積立投資信託の契約先数は53,686先となりました。

《投資信託販売における毎月分配型及び積立型の割合並びに積立型の契約先数》

	2023/3末	2024/3末	2025/3末
年間投信販売額（百万円）	33,360	59,296	51,516
うち積立型	5,680	7,198	10,842
販売額割合	17.0%	12.1%	21.0%
積立投資信託の契約先数	30,225	44,864	53,686

【つみたて投資キャンペーン】



【資産づくりプラン】



お客様の最善の利益に資する適切な利益相反管理【基本方針第3条】

【主な取組内容】

当行では、お客様の最善の利益に資する利益相反管理に向け、「利益相反管理基本方針」に定める通り、利益相反の状況が生じる可能性がある取引を特定・類型化するとともに、その特性に応じた管理方法により、適切な利益相反管理を行っております。

■利益相反管理

利益相反管理の統括部署（CR 統括部）においても二次的に選定手順の検証および評価を実施しております。

■乗換契約のモニタリング

お客様の中長期的かつ効率的な資産形成に資するため、金融商品の乗換契約においてはチェックリストを活用し、お客様の最善の利益に資する最適な販売取引の実施状況をモニタリングしております。

《投資信託販売額上位 10 銘柄 2024 年度》

順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	販売額（百万円）
1	国内株式型	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	9,989
2	海外株式型	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	アライアンス・バーンスタイン	6,535
3	国内株式	インデックスファンド225（三菱UFJ国際投信）	三菱UFJアセットマネジメント	2,606
4	海外株式	HSBCインドオープン	HSBC投信	2,150
5	海外株式	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	2,126
6	海外株式型	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	1,710
7	内外バランス	のむらッ・ファンド（積極型）	野村AM	1,698
8	内外バランス	のむらッ・ファンド（普通型）	野村AM	1,599
9	国内株式	日経平均高配当利回り株ファンド	野村AM	1,406
10	海外株式	FANG+インデックス・オープン	大和アセットマネジメント	1,355
上位10銘柄合計				31,175

《積立投資信託販売件数上位 10 銘柄 2024 年度》

順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	分配周期	販売構成
1	海外株式	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	1回	8.6%
2	国内株式	たわらノーロード 日経225	アセットマネジメントOne	1回	8.5%
3	内外株式	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	1回	7.9%
4	海外株式	たわらノーロード 全世界株式	アセットマネジメントOne	1回	6.8%
5	海外株式型	HSBCインドオープン	HSBCアセットマネジメント	1回	5.4%
6	国内株式型	インデックスファンド225	三菱UFJアセットマネジメント	1回	5.0%
7	内外バランス	のむらッ・ファンド（積極型）	野村AM	1回	3.5%
8	内外バランス	たわらノーロード バランス（8資産均等型）	アセットマネジメントOne	1回	3.3%
9	国内株式型	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	1回	3.0%
10	海外株式型	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	日興アセットマネジメント	1回	3.0%
上位10銘柄合計					54.9%

《生命保険販売額上位 10 銘柄 2024 年度》

順位	カテゴリー	商品名	生保会社名	販売額（百万円）
1	外貨・終身	えらべる外貨建一時払終身	明治安田生命	2,332
2	外貨・終身	サニーガーデンEX	メットライフ生命	678
3	外貨・終身	外貨建・エブリバディプラス	明治安田生命	665
4	外貨・年金	プレミアジャーニー	第一フロンティア生命	539
5	外貨・終身	プレミアプレゼント4	第一フロンティア生命	484
6	円貨・終身	ふるは〜とロードプラス	住友生命	375
7	外貨・終身	ビーウィズユープラスII	メットライフ生命	313
8	外貨・年金	プレミアカレンシー3	第一フロンティア生命	310
9	外貨・年金	悠々時間アドバンス	ニッセイ・ウェルス生命	300
10	外貨・終身	プレミアストーリー4	第一フロンティア生命	258
上位10銘柄合計				6,253

お客さまにご負担いただく手数料等の明確化【基本方針第4条】

【主な取組内容】

当行では、商品ごとの手数料内容を十分理解し、お客さまの知識・経験に応じたわかりやすい説明に努めてまいります。

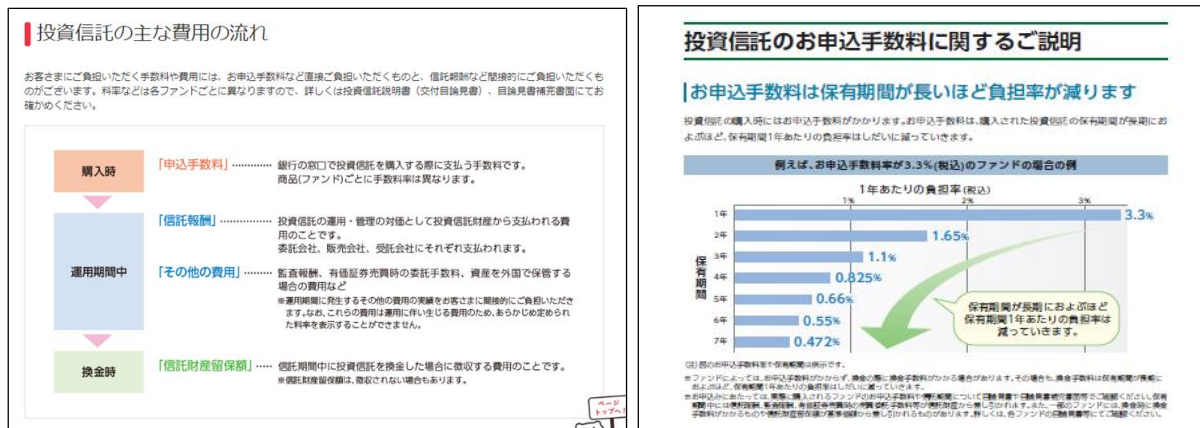
■手数料の設定

情報取得をお客さまご自身で行っていただくインターネットバンキングにおいては、同一商品を対面で販売する場合と比べて、手数料等が割安となっております。また、同一ベンチマークと連動した成果を目指すインデックスファンドにおいても、委託会社が異なる場合には事務手続きに係るコストが異なり、手数料等が異なる場合がありますが、手数料等については、「投資信託ラインナップ」やホームページ等にてご確認いただけます。またホームページでは、手数料で取扱投資信託を比較いただけるページを追加いたしました。

■手数料説明ツール

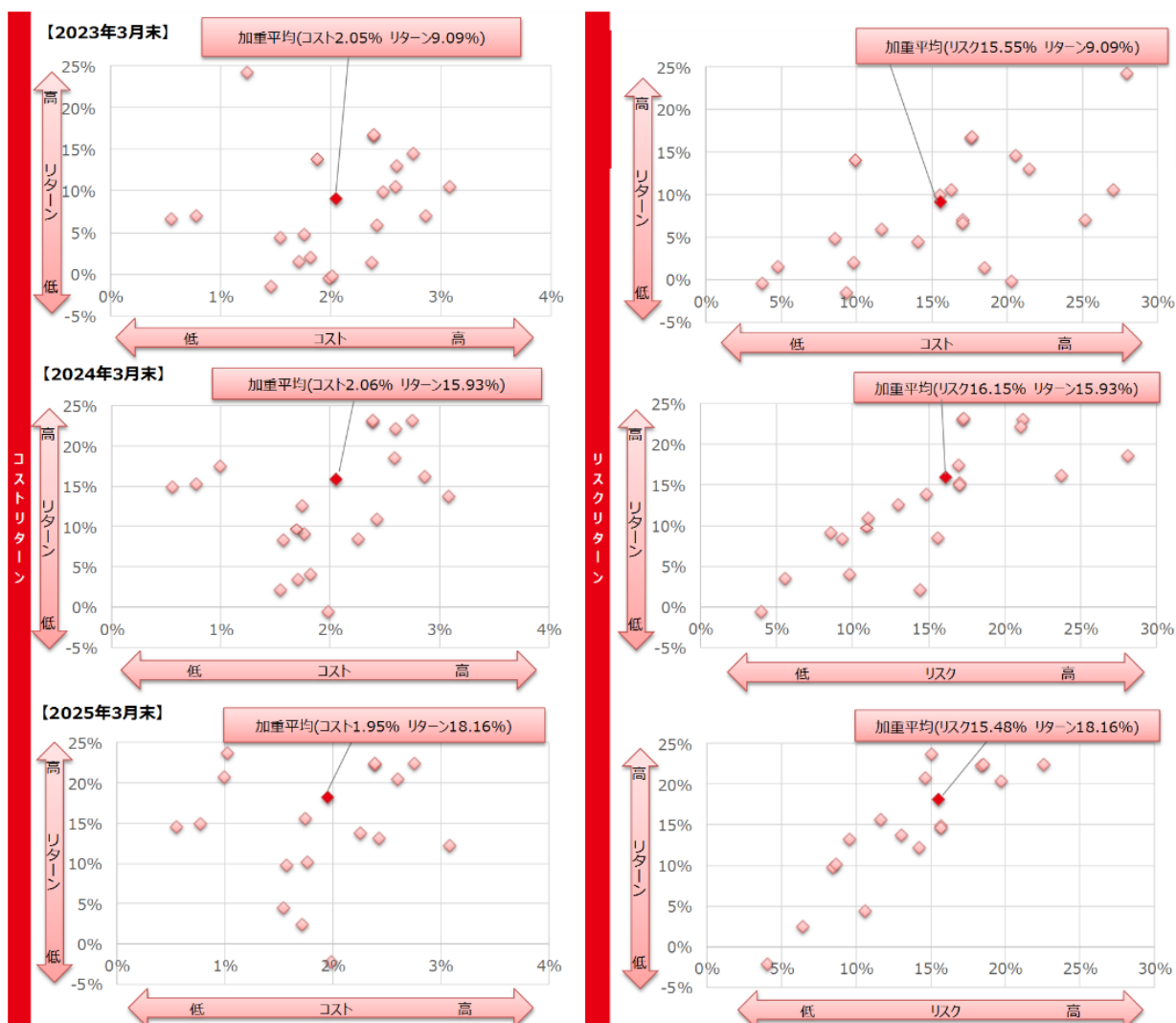
商品販売時等の手数料の説明において、各種説明ツールを用いております。より理解できるわかりやすい説明となるよう、「重要情報シート（生命保険・外貨預金）」に加え、新たに金融商品を横断的に比較いただけるツールを作成し活用しております。

【手数料説明ツール】



■ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン・リスクリターン【共通 K P I】

ファンド名	コスト	リスク	リターン	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1 アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39%	18.36%	22.39%	11 投資のソムリエ	1.98%	4.03%	-2.16%
2 インデックスファンド 225	0.77%	15.62%	14.96%	12 のむすび・ファンド (積極型)	1.74%	11.61%	15.64%
3 H S B C インドオープン	2.86%	17.87%	26.70%	13 グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)	2.60%	19.68%	20.51%
4 アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39%	18.49%	22.52%	14 フランクリン・テンブルトン・グローバル・プラス (毎月分配型)	1.76%	8.65%	10.18%
5 ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	2.25%	12.99%	13.82%	15 日経平均高配当利回り株ファンド	1.02%	15.01%	23.78%
6 グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.21%	12.31%	16 i F r e e S & P 5 0 0 インデックス	0.20%	16.20%	25.29%
7 米国株式配当貴族 (年4回決算型)	0.99%	14.62%	20.83%	17 三菱 U F J リートオープン (3ヵ月決算型)	1.54%	10.59%	4.46%
8 のむすび・ファンド (普通型)	1.57%	8.43%	9.83%	18 GW7つの卵	2.42%	9.51%	13.23%
9 n e t W I N G S テクノロジー株式ファンド B (ヘッジなし)	2.75%	22.53%	22.45%	19 日経 2 2 5 ノーロードオープン	0.55%	15.65%	14.63%
10 F A N G + インデックス・オープン	1.24%	28.72%	39.03%	20 グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.71%	6.37%	2.49%
				残高加重平均値	1.95%	15.48%	18.16%



〈定義〉

コスト：基準日時点の販売手数料率と信託報酬率の合計値（年率換算）

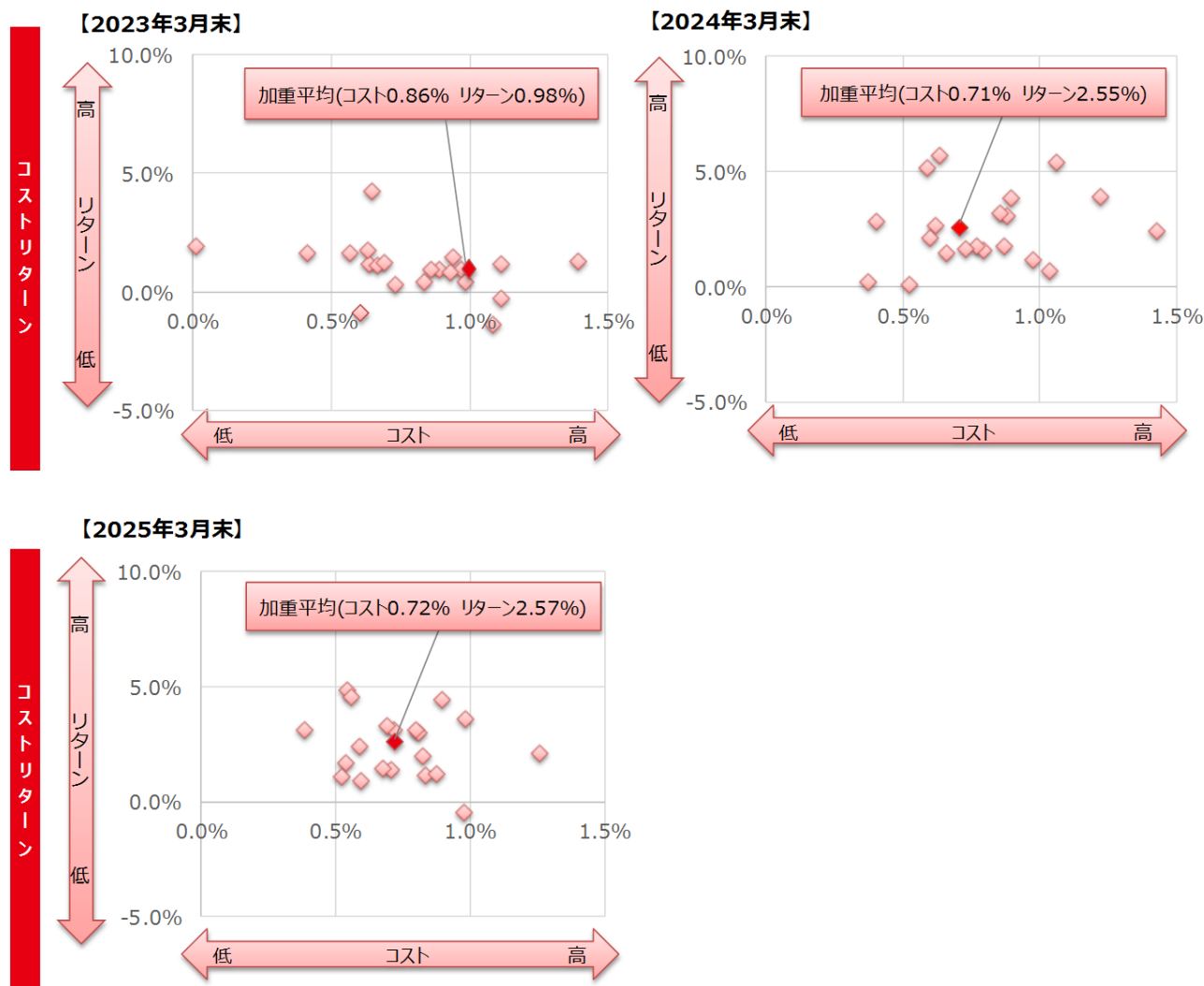
リターン：過去 5 年間のトータルリターン※（年率換算）

リスク：過去 5 年間の月次リターンの標準偏差※（年率換算）

* 騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

■ 外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン【共通 K P I】

ファンド名	コスト	リターン	ファンド名	コスト	リターン
1 プレミアレシーブ（外貨建）	0.59%	2.45%	11 ビーウィズユー（U Sドル建）	0.54%	4.85%
2 サニーガーデンE X	0.81%	3.00%	12 ビーウィズユー（豪ドル建）	0.59%	0.95%
3 サニーガーデン	0.54%	1.72%	13 夢のプレゼント	0.55%	4.60%
4 しあわせ、ずっと	0.70%	1.40%	14 おおきな、まごころ	0.83%	1.17%
5 やさしさ、つなぐ	0.52%	1.12%	15 デュアルドリーム	1.25%	2.11%
6 ビー ウィズ ユー プラス	0.97%	-0.44%	16 ロングドリームG O L D 3	0.98%	3.62%
7 プレミアプレゼント	0.82%	1.97%	17 プレミアストーリー 2	0.80%	3.13%
8 ロングドリームG O L D 2	0.89%	4.45%	18 えがお、ひろがる	0.87%	1.21%
9 ロングドリームG O L D	0.67%	1.49%	19 外貨エプラス豪	0.71%	3.14%
10 三大陸	0.38%	3.16%	20 豪ドル一時払養老	0.69%	3.33%
残高加重平均値				0.72%	2.57%



〈定義〉

コスト：保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出した各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均

リターン：（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額－契約時点の一時払保険料）
 ÷（契約時点の一時払保険料）を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均（いずれも円換算）

お客さまに応じた分かりやすい情報提供の充実【基本方針第 5 条】

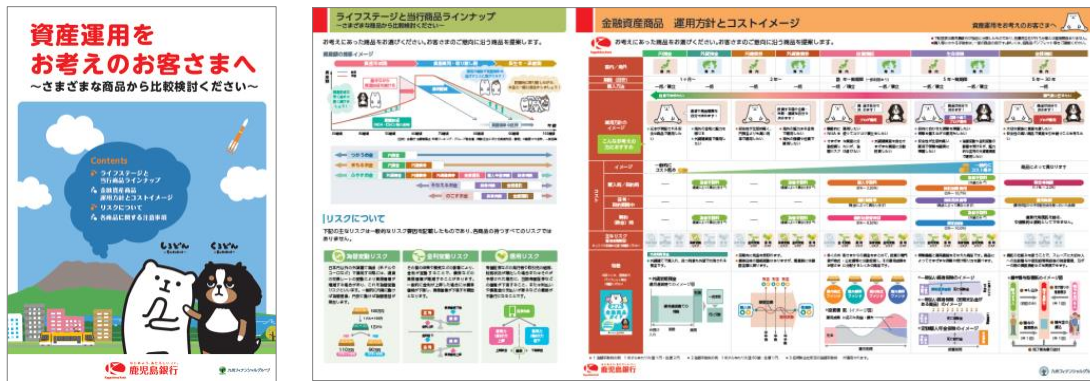
【主な取組内容】

当行では、重要情報シート、各種パンフレット、タブレット等 IT ツールを活用しながら、各種商品の基本的なリターンやリスク、取引条件等について比較も行いつつ、お客さまの知識・経験を考慮したわかりやすい説明に努めております。

■ライフステージに合わせた幅広いソリューションのご提供

- ・お客さまのお考えに寄り添いながら、取り扱いの金融商品を、横断的にご検討いただけるよう努めております。ご自身のリスク許容度に応じて、単品の商品での運用を追求されるお客さまには、ニーズに相応しい商品をアドバイスします。
- ・万一時の備えや介護、円滑な相続・資産承継などのお客さまの多様かつ日々刻々と変化するニーズに対応すべく、お客さまお一人おひとりにふさわしい商品・サービスの提供をおこなってまいります。

【ライフステージを踏まえた検討・商品の横断的な比較】



- ・NISA のご案内動画「上手に賢く資産形成！NISA の説明書」を作成し、ホームページや公式 Youtube チャンネルに掲載いたしました。お客さまが時間と場所を選ばずにご覧いただける情報の拡充に取り組んでおります。



■セミナーの開催

情報提供を通じてより多くのお客さまの資産形成・資産運用のサポートを行うために、お客さま向けセミナーを、オンライン開催も含めて計 127 回実施いたしました。

《2024 年度 お客さま向けセミナーの実施状況》

お客さまセミナー実施回数	127
セミナー参加者数	2,114

企業取引先様の従業員の皆様に対し、お金に関する知識を正しく活用していただくことを目的とした職域セミナーを開催しております。職域セミナーを通じて取引先様の従業員福利厚生の実施と採用活動等に貢献してまいります。また、地域貢献の取り組みとして、地域の小中学校においても金融経済教育を実施しております。

■継続的なフォローアップ

ご契約後の資産運用状況や市場動向などについて定期的にフォローアップを実施するほか、金融基礎知識に関する情報や最新のマーケット情報等、お客さまへの早急なフォローアップが必要となる相場動向急変時にタイムリーな情報提供をおこなってまいります。

■情報提供資料の追加

投資環境や金融基礎知識に関する情報がまとめられた資料を新たに追加しました。ビュッフェのように組み合わせ、お客さまのニーズに応じて資料を組み合わせた情報提供をおこなってまいります。

【かざんホワイトレーベル】

相場急変時フォローアップ

日本の株価急落が織り込んだものは

DeepSeekディープブークは低コストが強い

積立投資の特徴を理解しよう

長期投資で収益の安定化を図る

お客さまにとって最適かつ最良の金融商品・サービスの提供【基本方針第6条】

【主な取組内容】

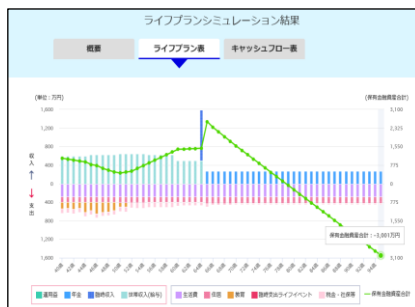
当行では、お客さまの想いを大切にし、ライフプランなどに合わせ中長期的な視点でコンサルティングを実施し、お客さまにとって最適かつ最良の金融商品・サービスを提供してまいります。多種多様なニーズに対応するべく、投資信託および生命保険のラインナップを見直し、新たな投資対象や機能を備えた新商品を導入しております。ご成約後も、お客さまの保有資産の状況や市場動向などの情報についてタブレット等を活用しつつ継続的に提供し、定期的にフォローアップを実施しております。

仕組債については、リスクの所在や手数料の構造が複雑なため、お客さまの中長期的な資産運用には適さないことから新規のお取り扱いはいたしておりません。また、生命保険は保険本来の保障を目的とした金融商品として考えており、運用機能に特化した目標設定型(ターゲット型)保険は、お取り扱いはいたしません。

■お客さまのニーズ把握のためのツール

ライフプランシミュレーションや相続資産承継コンサルティングシート等を活用することにより、お客さまのニーズを把握しソリューションの提供に努めています。

【お客さまのニーズ把握のためのツール】



■商品ラインナップ

投資信託においては、資産形成層から富裕層・法人に至るまで幅広い顧客層の資産形成・運用ニーズに対応するファンドとして、限定追加型商品を含め 13 商品追加いたしました。

《投資信託商品ラインナップ（商品数・比率） 2025 年 3 月末》

カテゴリー		商品数	比率
国内	債券型	6	4.3%
	株式型	21	15.0%
	REIT型	3	2.1%
	バランス型	0	0.0%
海外	債券型	28	20.0%
	株式型	48	34.3%
	REIT型	6	4.3%
	バランス型	25	17.9%
その他		3	2.1%
合計		140	100.0%
うちノーロード（除くつみたてNISA専用）		19	13.6%
つみたてNISA専用		8	5.7%

生命保険においては、万一時の備えや介護、円滑な相続・資産承継などのお客さまの多様かつ日々刻々と変化するニーズに対応すべく、お客さまお一人おひとりにふさわしい商品・サービスの提供のため、保障を目的とした商品を 3 商品追加・再開いたしました。

《生命保険商品ラインナップ（商品数・比率） 2025 年 3 月末》

カテゴリー		商品数	比率	うち法人専用	
一時払	円建	7	30.4%	0	
		変額年金	0	0.0%	0
		定額年金	2	8.7%	0
		終身保険	5	21.7%	0
	外貨建	9	39.1%	0	
		変額年金	0	0.0%	0
		定額年金	2	8.7%	0
		養老保険	0	0.0%	0
		終身保険	7	30.4%	0
	合計		16	69.6%	0
平準払	年金保険	2	11.1%	0	
	養老保険	2	11.1%	2	
	終身保険	2	11.1%	1	
	定期保険	4	22.2%	4	
	収入保障保険	2	11.1%	0	
	医療・がん保険	6	33.3%	0	
	生活障害保障保険	0	0.0%	0	
	合計		18	100.0%	7

■LINE での情報提供サービス

お客さまへのタイムリーな情報提供のため、LINE による投資信託情報配信サービス「Kagin Market Touch」でのマーケット情報や当行主催のセミナーおよびキャンペーン等の案内を実施しております。

【Kagin Market Touch】



お客さまの信頼と期待に応える態勢の整備【基本方針第7条】

【主な取組内容】

当行では、全行員向けにお客さま本位の業務運営の浸透・定着に向けた当行の取組状況・K P I の周知を行っております。また、お客さまの目線でお客さま本位の業務運営の定着状況を把握することを目的に、NPS®アンケートを実施いたしました。お客さまの声を行員にフィードバックし、今後の営業活動に生かしてまいります。

■人材育成

・研修の実施

お客さま本位の業務運営が企業文化として定着すべく、また金融知識やコンサルティング力の向上を目的に、新入行員や支店長等を対象とした階層別研修、預り資産販売担当者等を対象とした臨時的なFD研修を2回実施しました。また、「MA（マネーアドバイザー）育成プログラム」として、行員一人ひとりの成長の支援と、より専門性の高いコンサルティング力向上のための新たな研修体制を構築し実施しております。

■評価体系

適切な販売状況やお客さまの満足度向上につながる行動を評価する営業店業績評価や人事評価を通して、お客さまの信頼と期待に応える態勢の整備に取り組んでおります。

《N P S ®アンケート結果》

	鹿児島銀行
2022年度実施結果	26.9
2023年度実施結果	33.9
2024年度実施結果	45.9

【N P S ®について】

N P S ®（ネット・プロモーター・スコア®）アンケートとは、お客さまが企業やブランド、商品・サービスに対して抱く信頼感や愛着を表す指標で、顧客満足度と違い、今後お客さまが「知人やご家族にどのくらい勧めたいか（推奨度）」を測るものです。

【計算方法】

$$\text{NPS}^{\circledR} = \text{「推奨するお客さまの割合」} - \text{「推奨しないお客さまの割合」}$$

質問:ご家族や友人から相談を受けた場合、担当者を薦めたいと思いますか？（10点満点）

→10～9点を「推奨する立場」、8～7点を「中立の立場」、6～1点を「推奨しない立場」に分類

（例）回答者数 100 人 推奨する：50 人、中立：10 人、推奨しない：40 人

推奨する（9点以上）
お客さまの割合 50%

—

推奨しない（6点以下）
お客さまの割合 40%

=

NPS® 10

注：N P S ®とネット・プロモーター・スコア®は、ヘイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標です。

■地域貢献

・金融経済教育の取り組み

例年、小学生4～6年生を対象とした「親子で研究！かぎん夏休みお金の教室」を開催しております。また、小学校・中学校・高校を対象とした「職場体験」では、紙幣の数え方などの実習や銀行の社会的役割についての講義、次世代を担う子どもたちの金融知識向上に努めています。県内大学では、金融リテラシー向上のため金融や各市場の基本、金融の社会的役割について講義を実施しております。

【夏休みお金の教室】



【大学寄附講座】



お客様の最善の利益実現に向けた当社グループの基本姿勢【基本方針第2条】

【主な取組内容】

九州 FG 証券(以下、当社)では、お客さまの最善の利益の実現に向け、役職員の能力向上に努め、お客さまニーズ、金融リテラシーに応じた商品・サービスの提供ならびにオンラインセミナーやダイレクトメール等を活用した情報発信にも取り組んでおります。

また、お客さまの最善の利益の実現状況を図る指標として「運用損益別顧客比率（投資信託）」を公表しております。2025 年 3 月期においては、不安定なマーケットの中においても約 60%のお客さまが損益プラスとなりました。

当社は、リスクの分散と安定的なリターン実現に資するため、NISA 制度の活用促進や積立型投資信託ならびにキャンペーンの実施を通じて長期分散投資を中心に推奨しております。

2025年3月末において、NISA口座数は119,103件（前年度末比+19,180件）と増加いたしました。同様に積立型投資信託のご契約口座数は95,034人（同+18,698人／+24.5%）、販売額は225億円（同+104.1億円／+85.9%）となり、投資信託販売額の24.5%を占めております。

当社の安定的な業務運営にはお客さまの長期的かつ安定的な資産形成こそが不可欠であり、今後も指標の検証ならびに結果の公表を通じ、当社の取り組み状況を継続的にお客さまに開示してまいります。

また、お客さまの安定的な資産形成にそぐわない短期売却や乗換売買については、基準を明確化し、日々検証を行っています。

地域に根差し、お客さまに寄り添う存在として、企業スローガン「これからを、あなたのとなりで。」に掲げる通り、お客さまとともに成長し、最善の利益実現に向けた取り組みを継続してまいります。

■投資信託販売における積立型の割合並びに積立型の契約口座数およびNISA 口座数

			2023/3末	2024/3末	2025/3末
年間投信販売額（百万円）			43,003	88,894	92,054
	うち積立型		7,541	12,122	22,537
		販売額割合	17.5%	13.6%	24.5%
積立投資信託の契約口座数			37,485	76,336	95,034
NISA口座数			39,425	99,923	119,103

■資産運用キャンペーン

資産運用

キャンペーン

2025年1月6日(月)～2025年3月31日(月)

キャンペーン期間中に対象商品累計購入金額に応じて抽選口数を支付

※新コース

\ 抽選額 250 万円 /

50,000 円 贈呈

※抽選額 250 万円 /

100,000 円 贈呈

※抽選額 150 万円 /

10,000 円 贈呈

※抽選額 150 万円 /

10,000 円 贈呈

※抽選額 100 万円 /

1,000 円 贈呈

※抽選額 100 万円 /

1,000 円 贈呈

※抽選額 50 万円 /

50,000 円 贈呈

※抽選額 50 万円 /

5,000 円 贈呈

※抽選額 50 万円 /

5,000 円 贈呈

※抽選額 25 万円 /

2,500 円 贈呈

※抽選額 25 万円 /

250 円 贈呈

※抽選額 25 万円 /

25 円 贈呈

※抽選額 25 万円 /

25 円 贈呈

※抽選額 10 万円 /

1,000 円 贈呈

※抽選額 10 万円 /

100 円 贈呈

※抽選額 10 万円 /

10 円 贈呈

※抽選額 10 万円 /

10 円 贈呈

※抽選額 5 万円 /

500 円 贈呈

※抽選額 5 万円 /

50 円 贈呈

※抽選額 5 万円 /

5 円 贈呈

※抽選額 5 万円 /

5 円 贈呈

※抽選額 2 万円 /

200 円 贈呈

※抽選額 2 万円 /

20 円 贈呈

※抽選額 2 万円 /

2 円 贈呈

※抽選額 2 万円 /

2 円 贈呈

※抽選額 1 万円 /

100 円 贈呈

※抽選額 1 万円 /

10 円 贈呈

※抽選額 1 万円 /

1 円 贈呈

※抽選額 1 万円 /

1 円 贈呈

※抽選額 5 千円 /

500 円 贈呈

※抽選額 5 千円 /

50 円 贈呈

※抽選額 5 千円 /

5 円 贈呈

※抽選額 5 千円 /

5 円 贈呈

※抽選額 2 千円 /

200 円 贈呈

※抽選額 2 千円 /

20 円 贈呈

※抽選額 2 千円 /

2 円 贈呈

※抽選額 2 千円 /

2 円 贈呈

※抽選額 1 千円 /

100 円 贈呈

※抽選額 1 千円 /

10 円 贈呈

※抽選額 1 千円 /

1 円 贈呈

※抽選額 1 千円 /

1 円 贈呈

※抽選額 500 円 /

500 円 贈呈

※抽選額 500 円 /

50 円 贈呈

※抽選額 500 円 /

5 円 贈呈

※抽選額 500 円 /

5 円 贈呈

※抽選額 250 円 /

250 円 贈呈

※抽選額 250 円 /

25 円 贈呈

※抽選額 250 円 /

2 円 贈呈

※抽選額 250 円 /

2 円 贈呈

※抽選額 100 円 /

100 円 贈呈

※抽選額 100 円 /

10 円 贈呈

※抽選額 100 円 /

1 円 贈呈

※抽選額 100 円 /

1 円 贈呈

※抽選額 50 円 /

50 円 贈呈

※抽選額 50 円 /

5 円 贈呈

※抽選額 50 円 /

0.5 円 贈呈

※抽選額 50 円 /

0.5 円 贈呈

※抽選額 25 円 /

25 円 贈呈

※抽選額 25 円 /

2 円 贈呈

※抽選額 25 円 /

0.2 円 贈呈

※抽選額 25 円 /

0.2 円 贈呈

※抽選額 10 円 /

10 円 贈呈

※抽選額 10 円 /

1 円 贈呈

※抽選額 10 円 /

0.1 円 贈呈

※抽選額 10 円 /

0.1 円 贈呈

※抽選額 5 円 /

5 円 贈呈

※抽選額 5 円 /

0.5 円 贈呈

※抽選額 5 円 /

0.05 円 贈呈

※抽選額 5 円 /

0.05 円 贈呈

※抽選額 2 円 /

2 円 贈呈

※抽選額 2 円 /

0.2 円 贈呈

※抽選額 2 円 /

0.02 円 贈呈

※抽選額 2 円 /

0.02 円 贈呈

※抽選額 1 円 /

1 円 贈呈

※抽選額 1 円 /

0.1 円 贈呈

※抽選額 1 円 /

0.01 円 贈呈

※抽選額 1 円 /

0.01 円 贈呈

※抽選額 0.5 円 /

お客さまの最善の利益に資する適切な利益相反管理【基本方針第3条】

【主な取組内容】

当社は、「利益相反管理基本方針」を定め、当社ＣＲ統括部が当該方針に基づき、取引及び商品選定における利益相反の可能性をいくつかの類型に分類し、適切に管理しております。

投資信託商品ラインナップにおいて、特定の商品提供会社の偏重はなく、また、2025年3月期の投資信託取引において、過度に委託手数料（商品提供会社から当社が受取る手数料）に傾注した取引は認められておりません。

グループ内の肥後銀行・鹿児島銀行を含む九州内地銀の一部において共同で取り扱う「九州SDGs・グローバルバランスファンド」についても、当該銘柄が特に推奨される等の事象は確認されております。

■投資信託販売額上位10銘柄 2024年度

順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	販売額 (百万円)	手数料率
1	海外株式	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	アライアンスバーンスタイン	10,884	2.412%
2	海外株式	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	4,737	0.000%
3	バランス	のむらッ・ファンド（普通型）	野村アセットマネジメント	4,110	0.789%
4	国内株式	野村インデックスファンド・日経225	野村アセットマネジメント	3,800	0.000%
5	海外株式	FANG+インデックス・オープン	大和アセットマネジメント	3,698	1.687%
6	バランス	のむらッ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	3,649	0.621%
7	国内株式	日経平均高配当利回り株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	3,551	1.220%
8	海外株式	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	アライアンスバーンスタイン	3,438	2.488%
9	国内株式	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	3,354	0.000%
10	国内債券	One円建て債券ファンド3 2024-12	アセットマネジメントOne	2,878	0.497%
上位10銘柄合計				44,099	1.186%
(参考)	バランス	九州SDGs・グローバルバランス	りそなアセットマネジメント	13	1.408%

■積立投資信託販売件数上位10銘柄 2024年度

順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	分配周期	販売構成
1	国内株式	たわらノーロード 日経225	アセットマネジメントOne	1年	16.0%
2	海外株式	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	1年	14.1%
3	海外株式	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	1年	10.0%
4	海外株式	たわらノーロード 全世界株式	アセットマネジメントOne	1年	9.3%
5	バランス	たわらノーロード バランス（8資産均等型）	アセットマネジメントOne	1年	4.4%
6	バランス	のむらッ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	1年	3.4%
7	海外株式	たわらノーロード 新興国株式	アセットマネジメントOne	1年	3.1%
8	海外株式	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族	野村アセットマネジメント	6ヵ月	2.9%
9	海外株式	HSBCインドオープン	HSBCアセットマネジメント	1年	2.5%
10	海外株式	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	アライアンスバーンスタイン	6ヵ月	2.0%
上位10銘柄合計					67.7%

お客さまにご負担いただく手数料等の明確化【基本方針第4条】

【主な取組内容】

お客さまにご負担いただく手数料その他の費用（以下、「手数料等」）については、購入時及び継続的な情報提供、事務手続等に係るコストを総合的に勘案して設定しております。このため、お客さまが自ら能動的に情報取得する必要のあるオンライントレードにおきましては、対面販売と比べて手数料等を割安に設定しております（同一商品対面販売比：投資信託▲20%、株式▲50%）。

また、同一のベンチマークと連動した成果を目指すインデックスファンドにおいても、委託会社が異なる場合には事務手続きに係るコストが異なることから、手数料等が異なる場合がございます。

当社では、これらの手数料について、「スタートガイド」や「ファンドラインナップ」などを通じお客さまにご提示しております。また、当社ホームページにも掲載しており、常時ご確認いただけます。また、勧誘等にあたっては、「目論見書」（投資信託）、「商品概要説明書」（債券）等を用いてご説明しております。

より分かりやすくご説明するためのツールとして、当社で取り扱う店頭受付ファンドについて「重要情報シート（個別商品編）」を活用し、お客さまの知識・経験に応じた分かりやすい説明を行ってまいります。

■お客さまへのご説明ツール

■投資信託

投資信託



お客さまのニーズにあわせて、さまざまな種類のファンドを取り揃えています。

投資信託

ファンド検索

投資信託情報メール通知サービス

ファンドラインナップ（基準価額一覧）

投資信託ランキング

■ファンド詳細（イメージ）

■重要情報シート（イメージ）

🔍 メール通知
 📧 マイファンデーション

[株式](#)
[債券](#)
[ETF投資](#)
[商品投資](#)

インデックスファンドMSCIオール・カンントリー（全世界株式）

	最新情報（更新日：2024/05/31）
最新価格	14.450円（-113円）
純資産	219.88億円（+0.29億円）
最近1月変動	0円（決算日：2024/05/16）

	基金リターン（更新日：2024/05/月末）
1ヶ月	+2.11%
1年	+36.29%
3年	-

基本情報

運用実績

リターン計算

基金コミュニケーション

お申込みメモ

設定情報

発行者会社	日本アセットマネジメント
受託者会社	野村信託銀行
設立日	2023年4月28日
契約期間	無期限
決算日	毎年度：6月16日（休業日の場合は翌営業日）

お申込みメモ

購入・振替申込

以下のいずれかの該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。

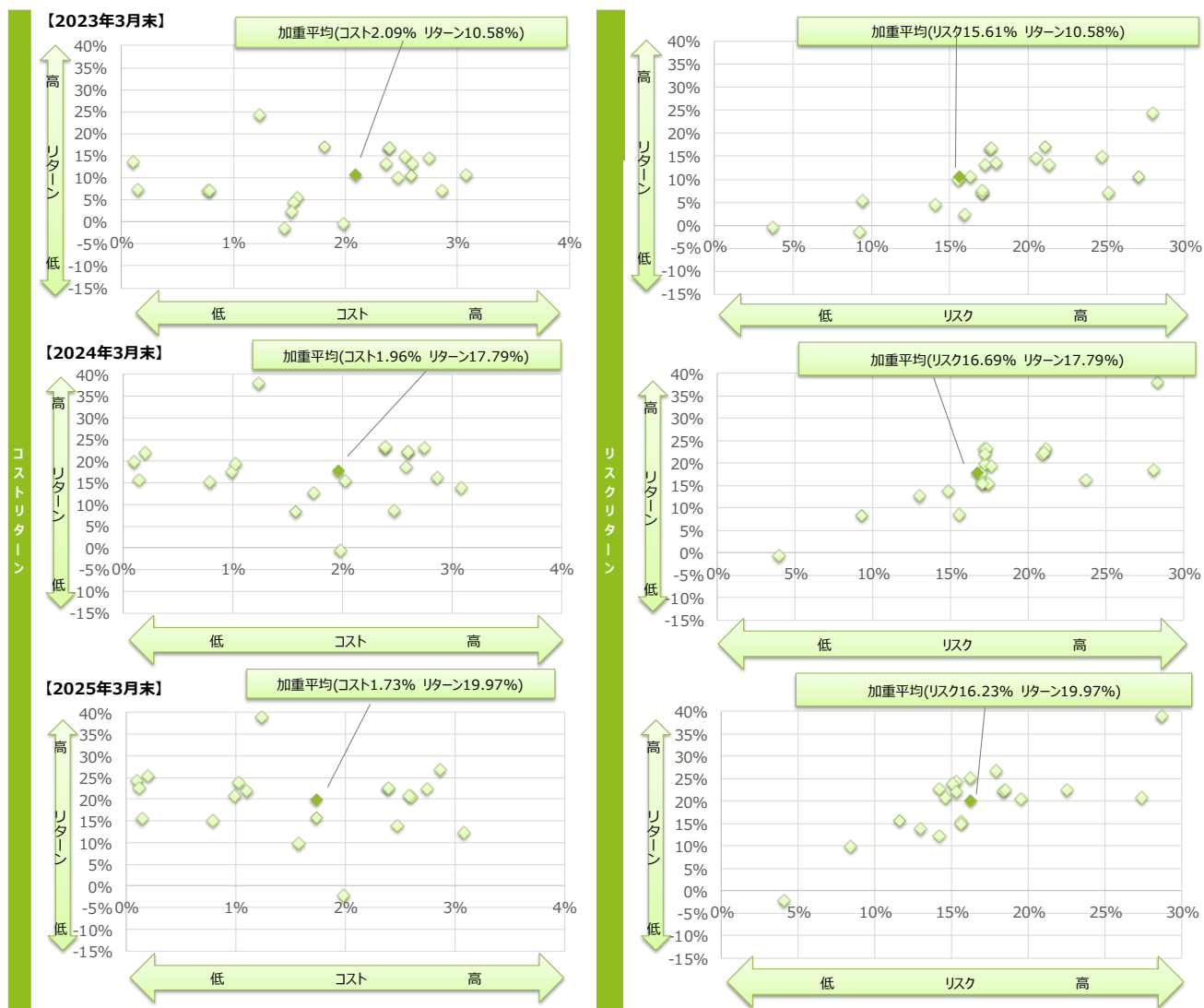
- ・「ニュー・ヨーク証券取引所の休場日」
- ・「ニューヨーク連邦銀行の休業日」

購入手数料等（税込込み）
※1：1.1%

一律：1.10%

 九州フィナンシャルグループ	株式会社鹿児島銀行 株式会社鹿児島商工銀行 九州 F G証券株式会社
一定の投資先を特定商品と銘柄に定める	
重要情報シート（個別商品編）	
2024年1月	
1. 提供目的の範囲（目的は、商品名と提供目的を明記し、提供先と提供目的の範囲を明記してください）	
提供目的の範囲（提供先）	オンラインプラットフォーム（モバイル・インターネット）（提供範囲）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）
提供目的（提供目的）	本商品（提供目的）

■ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン・リスクリターン【共通 K P I】



〈定義〉

コスト：基準日時点の販売手数料率と信託報酬率の合計値（年率換算）

リターン：過去 5 年間のトータルリターン※（年率換算）

リスク：過去 5 年間の月次リターンの標準偏差※（年率換算）

* 騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

お客さまに応じた分かりやすい情報提供の充実【基本方針第5条】

【主な取組内容】

当社は、基本的な利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件、選定理由といった各種情報について、お客さまにご説明が必要となる重要な情報と位置づけております。

重要な情報については十分にご理解いただく必要があることから、お客さまの取引経験・金融知識に応じて分かりやすく説明するために、ファンドラインナップ、重要情報シート（個別商品編）、コンサルティングツール等を活用してまいりました。情報提供の実施状況については、お客さまとの接触状況やイレギュラーな取引（短期売買、乗り換えなど）のモニタリングを行い、系列銀行とも連携しながら検証を実施しております。

また、ホームページはお客さまの情報源として重要なツールであるという認識から、継続的に内容のリニューアルや発信情報の充実、投資詐欺等への注意喚起も含めて積極的に発信しております。

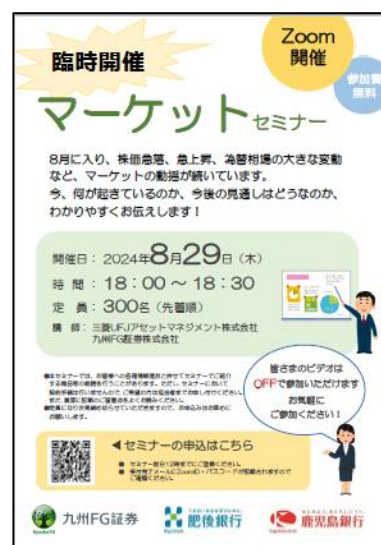
なお、2025年3月期は、情報提供の一環として、オンラインセミナーを延べ16回実施し、累計1,500人を超えるお客さまのご参加をいただきました。セミナーの内容については、ファンドの運用報告、積立投資（ドルコスト平均法）のメリット、相場急変時の内容など多岐にわたっております。今後も引き続き、お客さまの様々なニーズにお応えできるよう、幅広いテーマで実施してまいります。また、年間を通じて、適宜ホームページや電子メール等を通じてセミナー案内を展開しており、ご参加いただけるお客さまは年々増加しております。

フォローアップについては、ご契約後の運用状況、マーケット動向等を定期的にお客さまにご報告するだけでなく、市場急変時（投資信託基準価額の一定基準への抵触のタイミング）には、お客さまにご安心いただけるようタイムリーなアプローチを行い、丁寧な情報提供に努めてまいりました。

■アフターフォロー実施状況

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
アフターフォロー実施先数	(千先)	9	9	9
お客さまセミナー実施回数	(回)	13	13	16
セミナー参加者数	(人)	1,166	1,166	1,599

■セミナー



お客さまにとって最適かつ最良の金融商品・サービスの提供【基本方針第6条】

【主な取組内容】

当社では、お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、国内外、主となる運用対象資産、投資方針によるカテゴリーを充実するだけでなく商品選定の分かりやすさにも配慮し、バランスの取れた商品ラインナップの充実を図ってまいりました。

新商品の選定においては、お客さまにご負担いただく手数料等、基本的なリスク・リターン、既存商品との差異、競合他社における導入状況、商品提供会社が想定する顧客層と当社のお客さまとのフィット・アンド・ギャップ等を踏まえ、営業部門・管理部門・経営企画部門で構成される委員会による協議を経て、総合的な判断のもと選定しております。

また、商品ラインナップの整理（販売チャネル見直し含む）に際しては、専門的知見を持ち合わせた外部専門業者（R&I）による投資信託評価レポートを基に、販売状況、商品管理コスト、お客さまの利益等を総合的に勘案した上で対応しております。

2025年3月期は、投資信託商品ラインナップに8銘柄を新たに追加し、5銘柄の販売停止を行いました。別途、限定追加型の投資信託商品として5銘柄を導入いたしました。

※複雑な仕組債はリスクの所在や手数料の構造が分かりにくく、お客さまの中長期的な資産形成には適さないことから2022年10月より新規のお取り扱いをいたしておりません。

■投資信託商品ラインナップ（商品数・比率） 2025年3月末

		九州FG証券		前年	
カテゴリー		商品数	比率	商品数	増減
国内	債券型	5	2.7%	5	0
	株式型	20	10.8%	19	1
	REIT型	3	1.6%	3	0
	バランス型	0	0.0%	0	0
海外	債券型	37	19.9%	38	-1
	株式型	73	39.2%	67	6
	REIT型	8	4.3%	8	0
	バランス型	34	18.3%	37	-3
その他		6	3.2%	6	0
合計		186	100.0%	183	3
うちノーロード（除くつみたてNISA専用）		24	12.9%	24	0
うちつみたてNISA専用		17	10.0%	14	3

（+1、-4ファンド）

※限定追加型投資信託商品を除く

当社は、ゴール・ベース・アプローチの観点から、コンサルティングに重点を置き、お客さまの資産状況、取引経験、知識や投資目的・ニーズ、ライフプラン等を踏まえ、想定される顧客層と乖離がない金融商品・サービス等のご提案についてツール等を活用しながら実践しております。当社とお取引いただいているお客さまの最善の利益が実現できるよう、継続的な取り組みに注力いたします。

一方、お客さまにふさわしくないと想定される取引の発生を抑制するための仕組みを構築しております。具体的には、お客さまからのヒアリングに基づき、お客さまのリスク許容度や投資意向を分類し、個別商品にもリスク・リターンに応じたランク分けを行うことで、リスク許容度が低いお客さまに対し、営業員がハイリスク商品を推奨できない仕組みとしております。

また、ご高齢のお客さまには担当者とは別の者が健康状態やご提案の理解度確認を行うなど、また家族同席での面談をお願いする等、より慎重な推奨に努めております。

■コンサルティングツール

■現在～100歳までの将来の収支や資産残高推移を一目で確認できるようチャート・グラフやで表形式で表示します。

PDF出力やデータの内容を保存できます

現在～100歳までのキャッシュフロー表へ10年ごとに移動可能

■運用期間
現在の年齢～100歳まで入力できます。

■運用資産額（貯蓄額の何%を運用しますか？）
5%刻みで、0%～100%を選択できます。

■想定利回り
1%刻みで、0%～7%を選択できます。

運用を加えたものは赤チャートで表示

縦及び横にグラフを見ていくと、給与増減推移、家族構成に応じた生活費推移、保有資産残高推移等が確認できます。いつのくらい備えるべきか明確になるため、将来の資産形成の一助になります。

(例)
・支出の多い時期の要因を分析・確認し、手当などの活用を検討。
・(国の各種手当制度や保険商品等活用)
・赤字になっている時期や保有資産残高が許容範囲よりも減少してしまう時期に合わせて運用開始。

■積立シミュレーションと取り崩しシミュレーションからお客さまへ運用イメージをお伝えできます。

Lifeplan Simulation

積立シミュレーション

将来の運用総額が表示

シミュレーション結果では、将来の運用総額とそれぞれ色分けされた初期投資額、積立投資額、利回りに応じた運用益が表示されます。

運用ポートフォリオでは、利回りに応じたモデルポートフォリオと将来の運用予測が表示されます。運用予測においては、5段階での運用予測を確認できます。

積立シミュレーションは「将来の運用総額」「必要な利回り」を確認できます。

お客さまの信頼と期待に応える態勢の整備【基本方針第7条】

【主な取組内容】

当社では、お客さまとの対話による真のゴール・ベース・アプローチの実践に向け、当社営業員のスキルアップに加え、当社系列銀行から受け入れた人材を当社で育成し、還元することでグループ全体でのスキルアップに向けて取り組んでおります。

また、ミッション実現には営業員のスキルアップが不可欠であり、業務遂行に必要な知識・スキルの現状把握を行うツール、お客さまとの対話を通じてヒアリング能力を強化するツールなどの独自の育成ツールを策定し、より効果的かつ効率的に能力開発が実現できる環境を整備しております。

グループ共通でファイナンシャル・プランニング技能士の資格取得を推奨しており、2025年3月末時点での当社役職員における取得者数は62名、取得率は77.5%となりました。当該資格については、未取得者の新規取得と既存取得者の上位資格取得を奨励してまいります。

■ 資産運用関連資格者数

	九州FG証券		
	2023/3末	2024/3末	2025/3末
FP1級	5	9	10
FP2級	50	51	52
合計	55	60	62

なお、継続的に研修や勉強会を実施しており、営業員の知識・スキルの向上の一助となっております。

系列銀行行員向けには、引き続き証券トレーニー研修を実施し、また当社営業員を主な対象として様々なテーマ（マーケット動向・展望、個別商品など）のWEB勉強会を開催することで、多くの成長機会を創出いたしました。

研修内容の浸透・習得状況については、上席者による日常業務での確認に加え、系列銀行との情報連携によりモニタリングできる環境としております。またOJTの形式で適宜フォローアップを行っております。また、法令遵守意識向上のための確認テストを毎月実施しており、モニタリング及びフォローアップを適宜実施しております。

以上